

会長挨拶

令和元年 5月

町田市剣道連盟会長 比良田健一

この度、平成31年4月14日（日）サン町田旭体育館での町田市剣道連盟総会を経て引き続き会長職を仰せつかりました。改めてご挨拶をさせていただきます。

さて、この5月から元号が平成から令和に改められ時代がまた一歩ずつ変化していきます。私たちは、その流れの中で置かれている状況や立ち位置を適切に考えながら前向きに進むことが肝要であると考えています。

社会はますます情報化やグローバル化が進展していくことは否めませんが、私たちが日々取り組んでいる武道（剣道）は、我が国を発生とし江戸時代中期から様々な変化を遂げつつ連綿として今に受け継がれ我が国の伝統と文化として現在に至っています。この度の改元により様々なことが話題となりその評価や捉え方は人それぞれです。実業団や警察、各道場、地域剣友会や学校等多くの武道仲間が日々修練を重ねてきていますが、とりわけ武道（教育剣道の中）におきましては、平成元年（1989年）に格技から武道へ、平成24年（2012年）には中学校での武道の必修化がスタートしています。そのことの意味は、時代が変わっても「礼」を土台にした普遍的な歴史観に基づき自国の文化や伝統の良さを再確認して、先達の生き方や考え方を正しく学びこれからの日本の国民としての主体性を培うことにあるものと考えています。頑なな「・・・ねばならない」論ではなく、自らが柔軟な発想で社会の変化に対応しながら自立して自律的に生きること、加えて社会に貢献できる人材の育成を意図的に進めて寄与すること。行政関係の政策と併せてこれからの人々のための応援団として取り組んでいくことが、本連盟に課せられた令和の時代の在り方であり、また求められているのではないかと思います。

町田市剣道連盟は約1000名の会員により成り立っています。加盟団体及びその指導者はもちろんのこと活動する多くの青少年やその保護者を含めて健全育成に寄与することを目指し、皆様と共に進取の気概で活動を進めていきたいと思っております。引き続き活動への理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

剣道連盟の運営方針

- ・円滑な組織運営に努める。—「みえるか」の推進、情報発信、組織の見直し（理事の在り方等）
- ・広く普及振興を進める。—稽古会の活性化、各種大会の充実と運営、級位・段位の指導と審査会
- ・よき指導者を育てる。—指導者講習会・審判講習会の充実、指導資料等の活用、稽古会の充実等

なお、今年度は以前から課題となっていました事案（理事の在り方等）についての検討委員会を設置して協議を進めてまいります。

※会の名称—「町田市剣道連盟理事検討委員会」です

本部役員4名と加盟団体の選出理事（2～4名）による合同検討委員会により、秋の中間理事会でその骨子報告を受け検討します。

その後、次年度の総会で協議して～承認・決定となります。＝ {規約改正}